

いさおだより

10月号

平成24年9月28日

和歌山市立有功小学校

厳しかった残暑もようやく和らぎ、朝夕の涼しさに秋の訪れを感じる今日この頃です。27日には2年生が、田植えをさせていただいた田んぼで稲刈りをさせていただきました。5年生が植えた田んぼの稲刈りももうすぐです。重そうに頭を垂れる稲穂が稔りの秋の到来を告げています。



さて、学校では、暑さ厳しい中、9月30日の運動会をめざして、日頃の学習の成果をもとに練習を積み重ねてきました。運動会を行うにあたっては、

- ・自分のベストを尽くして頑張ることに喜びと満足感をもたせること
- ・みんな仲良く励まし合い協力し合って、心に残る運動会にすること等のめあてをもって取り組むことを大切にしながら指導を続けています。

ところで、子どもたちは一人一人の顔や性格が違うように、走る力や走り方にも個人差があります。ダンスについてもリズム感豊かな子もいれば、不得意な子もいます。運動は苦手だけれど字を書くのは得意な子、絵を描くのが得意な子… それぞれの個性も様々です。また、集団の中に入りにくくそのときの状況になかなか馴染めない子どももいます。練習でやっとならなうようになってきたことでも、運動会といういつもと違う雰囲気の中では緊張して思うようにいかない子どももいるかも知れません。皆さん方の目には、一見、誰もがができるような簡単なことであっても、その子にとっては大変辛くてしんどいことであつたりします。私たちは、子どもたちが「苦手なことや困難をのりこえて持てる力を向上させようと、ひたむきに努力している姿」、あるいは、「ころんでも自分で立ち上がり、ゴールを目指して最後まで頑張つて走り続ける姿」等をこの上もなく大切にしたいと思つてますし、そのことを範としてより素晴らしい運動会にしていきたいとも考えています。人の失敗を笑つたり、見下げたりする態度は、子どもの人格形成に悪影響を与えるということは今更いうまでもありません。

どうか、こうしたことを十分にご理解いただき、一つ一つの演技に対して大きな拍手とご声援をいただき、みんなが「楽しい運動会だった」といえるよう、子どもたちへの温かい励ましをよろしくお願い申し上げます。

